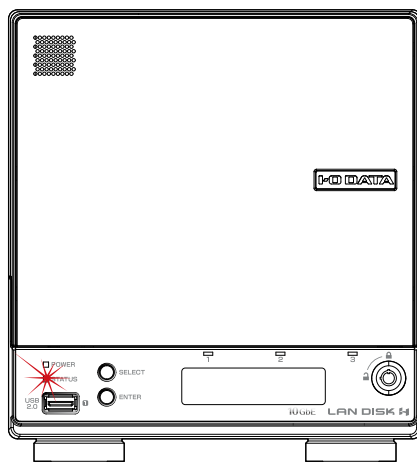


初回設定マニュアル

ネットワーク HDD
HDL2-HA シリーズ

すぐ取り出せる場所に保管してください

2023 年 5 月 31 日付の「SDZ2133-R シリーズ」の生産終了に伴い、本製品の対応メモリーのご案内を終了させていただきます。
お客様におかれましては大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。



ランプが赤く光ったら、この冊子をご覧ください

ランプの点灯やブザーから問題を把握したり、
故障したカートリッジを交換する方法が記載されています。
いざというときに手に取れる場所に保管してください。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

| | |
|---|--|
| 注意事項など 本製品を使う上で、お守りいただきたいご注意ください。 必ずお読みください。 | 使う前に 本製品の使用目的 3 使用説明の構成 3 安全のために 4 使用上のご注意 6 添付品を確認する 8 交換用カートリッジ、対応外付 HDD/UPS 9 各部の名称・機能 10 |
| 初期設定 本製品の設置・導入方法です。 | 基本的な使い方 ステップ1：設置し、電源を入れる 14 ステップ2：初回設定をする 17 ステップ3：アクセス権を設定する 26 パソコンからアクセスする 28 データを守る（バックアップ） 30 データを守る（ゴミ箱機能） 31 |
| 詳細設定 その他の設定です。必要に応じてご確認ください。 | 便利な使い方 機能を追加する（アドオンパッケージ） 33 機能一覧 34 |
| 故障時の対応・資料 故障時の対応や、その他本製品の資料情報です。 必要に応じてご覧ください。 | ランプと対処 故障と思ったら 38 カートリッジの交換方法 42 資料 ダウンロードできるソフト 44 アフターサービス 45 ハードウェア保証規定 47 ハードウェア保証書 巻末 |

本製品の使用目的

本製品は、ネットワーク HDD/SSD（NAS）です。
データファイルを本製品に保存し、ネットワーク上で共有できます。
※本製品は屋外に設置しないでください。

使用説明の構成

本製品の使用説明には、次のものがあります。

◇初回設定マニュアル（本書）
本製品の初回設定方法、故障時の対応を説明しています。

◇詳細ガイド (Web)
バックアップ設定など、その他の設定について説明しています。
詳細ガイドは、本製品の設定画面左上の [マニュアル] から開くことができます。





最新のマニュアルは、弊社サポートライブラリでご覧いただけます
<https://www.iodata.jp/p/223839>
上記にアクセスしてください。スマートフォンなどでも閲覧できます。⇒
※上記は HDL2-HA2 のページですが、マニュアルの内容はシリーズ共通です。



安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼警告・注意表示


| | | |
|---|-----------|---|
|  | 警告 | この表示の注意事項を守らないと、死亡または重症を負うことがあります。 |
|  | 注意 | この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。 |

▼絵記号の意味

| | | | |
|---|----|---|-------|
|  | 禁止 |  | 指示を守る |
|---|----|---|-------|

⚠ 警告


本製品を修理・改造・分解しない

 発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。


雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない

 感電の原因になります。


AC アダプターや本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない

 水や洗剤などが電源コードや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
 ・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
 ・水の入ったもの（コップ、花瓶など）を上に乗かないでください。
 ・万一、電源コードや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。


本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない

 発火の原因になります。


故障や異常のまま、つながない

 本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。


本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ず本製品の電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてからおこなう

 電源コードを抜かずにおこなうと、感電の原因になります。

煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐに使うのを止める


 そのまま使用すると発火・感電の原因になります。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない


 誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

⚠ 警告 ●電源（コード・プラグ）について


AC アダプターや電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使わない

 電源コードから発煙したり、発火の原因になります。


AC100V（50/60Hz）以外のコンセントにつながない

 発火、発熱のおそれがあります。


熱器具のそばに配線しない

 電源コード被覆が破れ、発火や感電、やけどの原因になります。


AC アダプターや電源コードにものをせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはない

 電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。


ゆるいコンセントにつながない

 電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して発火の原因になります。


電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

 電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、発火や感電の原因になります。

添付の AC アダプターや電源コードは、他の機器につながない

 発火や感電の原因になります。添付の AC アダプターや電源コードは、本製品専用です。

コンセントまわりは定期的に掃除する

 長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つまったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）
 トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。


煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く

 そのまま使うと発火・感電の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない


 発火の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用する、たこ足配線はしない


 テーブルタップの定格容量（1500W などの記載）を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

⚠ 注意

本製品を踏まない

 破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

人が通行するような場所に配線しない

 足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

使用上のご注意

《重要》データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。

本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などをすることもできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体(HDD・BD・DVD など)にデータの複製を作成することです。(データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。) 万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

▶ バックアップ方法については、【データを守る (バックアップ)】(30 ページ) をご覧ください。

最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

【ファームウェアの更新について確認する】(25 ページ)

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

- ハードディスクに記録されたデータは、OS 上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェア (OS、アプリケーションソフトなど) を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

- NarSuS に登録している場合は、製品登録情報を削除してください。
- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

本製品はローカルネットワーク上でご利用ください

本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。

ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。

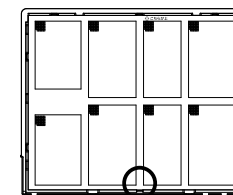
お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
- 市販のクリーニングキットは使わない。
- フロントパネル内のフィルターは定期的に掃除してください。

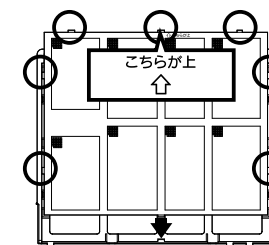
▼フィルターの取り外し方

下のツメを外して取り外します。



▼フィルターの取り付け方

- ①フィルターの「こちらが上」と書かれた方を上にして、下のツメにはまるようにフロントパネルに挿し込みます。
- ②順にすべてのツメをはめ込みます。



この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

添付品を確認する

☐ 電源コード（1 本）

☐ AC アダプター（1 個）

※ AC アダプターと電源コードをつないで使います。

☐ AC プラグ変換アダプター（1 個）

☐ LAN ケーブル（2 本）

☐ ロック（LOCK）キー（2 本）

☐ USB ロックキーシール（2 枚）

☐ マスターキー保存用 USB メモリー（1 本）

※本製品の暗号化機能を利用する際に使用します。詳しくは、『詳細ガイド』（Web）をご覧ください。

☒ 初回設定マニュアル（本書）

ユーザー登録はこちら…<https://ioportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号（S/N）が必要となりますので、メモしてください。

シリアル番号（S/N）は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。

（例：ABC1234567ZX）

| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|



交換用カートリッジ、対応外付 HDD/UPS

交換用カートリッジ

以下の弊社ホームページをご確認ください。

https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/nas_hdd.htm



ご注意

- 交換用カートリッジには、システムはインストールされていません。
- 拡張ボリューム（出荷時設定）で使っている場合、容量を後から増やすことができます。詳しくは、詳細ガイドをご覧ください。（RAID 1、RAID 0 の場合は、本製品の容量をあとから増やすことはできません。）
- HDD 搭載モデルの場合、HDD カートリッジのみ使用できます。また、SSD 搭載モデルの場合、SSD カートリッジのみ使用できます。

対応外付 HDD

以下の弊社ホームページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/hdd.htm>



ご注意

- 外付 HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこないます。

対応 UPS

以下の弊社ホームページをご確認ください。

<https://www.iodata.jp/pio/io/nas/landisk/ups.htm>



使う前に

基本的な使い方

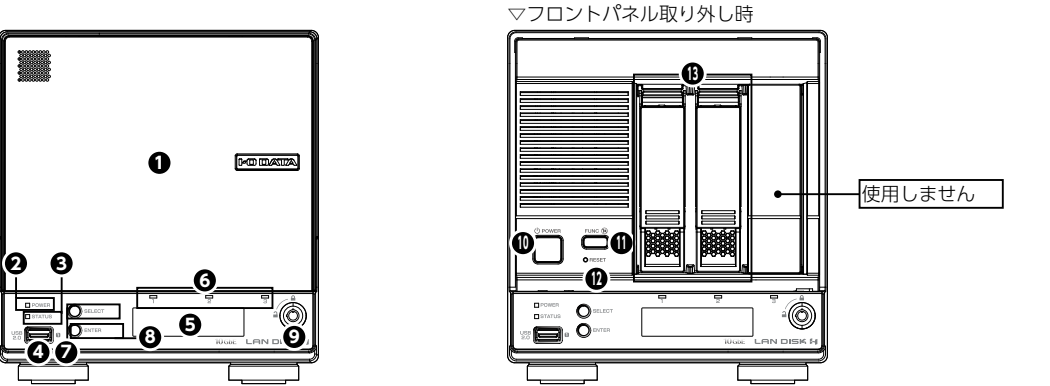
便利な使い方

ランプと対処

資料

各部の名称・機能

前面



| | |
|---------------|---|
| ① フロントパネル | カートリッジや POWER ボタンの誤操作を防ぎます。 また、埃の侵入を防ぎます。 (【お手入れについて】 (7 ページ) を参照) |
| ② POWER ランプ | 本製品の電源の状態を示します。 (【ランプと対処】 (38 ページ) 参照) |
| ③ STATUS ランプ | 本製品のステータスを示します。 (【ランプと対処】 (38 ページ) 参照) |
| ④ USB ポート 1 | 増設用 USB 機器を接続します。 (USB 2.0) クイックコピー、ロックキー運用時に使います。 ※クイックコピー、暗号化ボリュームについては、『詳細ガイド』 (Web) でご確認ください。 |
| ⑤ 液晶表示 | 操作の状態や結果を表示します。 |
| ⑥ HDD/SSD ランプ | 各カートリッジの状態を示します。 (【ランプと対処】 (38 ページ) 参照) |
| ⑦ SELECT ボタン | 液晶の表示を切り替えます。 ブザー音を停止します。 |
| ⑧ ENTER ボタン | 液晶にお知らせを表示します。お知らせが複数ある場合、押すたびにお知らせ表示を 1 個ずつクリアできます。 |
| ⑨ キーロック | フロントパネルをロック / アンロックします。 |
| ⑩ POWER ボタン | 電源を ON/OFF します。 ※長押ししないでください。強制シャットダウンになり、故障やデータ消失の原因となります。 |
| ⑪ FUNC ボタン | クイックコピーを使います。 ※クイックコピーについては、『詳細ガイド』 (Web) でご確認ください。 |
| ⑫ RESET ボタン | 本製品の管理者パスワードと LAN1 ポートの設定を出荷時設定に戻します。 |
| ⑬ カートリッジ挿入位置 | カートリッジを挿入します。 |

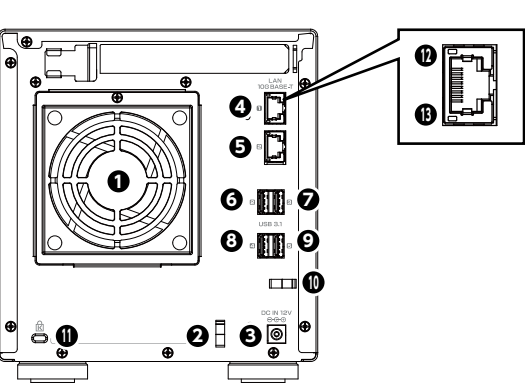
液晶表示と操作

SELECT ボタンを“ピッ”と音が鳴るまで押すと、以下の順で情報を表示します。

- ①お知らせ あり / なし
- ②製品型番 / バージョン / LAN DISK の名前
- ③LAN1 ポートの IP アドレス、MAC アドレス
- ④LAN2 ポートの IP アドレス、MAC アドレス
- ⑤空き容量 / 全容量
- ⑥現在の日時

①で「お知らせ あり」と表示されているときに、ENTER ボタンを“ピッ”と音が鳴るまで押すと、お知らせの内容が簡易表示されます。SELECT ボタンで他のお知らせ表示、ENTER ボタンで「お知らせ あり / なし」の表示に戻ります。

背面



| | |
|--------------------|--|
| ① ファン | 冷却用ファンです。ふさがないでください。 |
| ② 電源コードフック | 添付の電源コードフックを付け、電源コードを引っかけます。 (抜け防止) |
| ③ 電源コネクター | 電源コードをつなぎます。 |
| ④ LAN 1 ポート | 添付の LAN ケーブルをつなぎます。本製品のデフォルトゲートウェイ、DNS の設定は 1 つだけです。 |
| ⑤ LAN 2 ポート | 増設用 USB 機器をつなぎます。 |
| ⑥ USB ポート 2 | 増設用 USB 機器をつなぎます。 ・ RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ、USB ポート 3 とペアを構成できます。 |
| ⑦ USB ポート 3 | 増設用 USB 機器をつなぎます。 ・ ミラーリング機能のため、ミラーディスクをつなぎます。 (ミラーリングについては『詳細ガイド』 (Web) 参照) ・ RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ、USB ポート 2 とペアを構成できます。 |
| ⑧ USB ポート 4 | 増設用 USB 機器をつなぎます。 ・ RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ、USB ポート 5 とペアを構成できます。 |
| ⑨ USB ポート 5 | 増設用 USB 機器をつなぎます。 ・ RAID モードが拡張ボリュームの場合、USB HDD をつなぎ、USB ポート 4 とペアを構成できます。 |
| ⑩ USB ケーブルフック | USB ケーブルの抜け防止用です。 フックに USB ケーブルを引っかけて使います。 |
| ⑪ セキュリティスロット | 盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。 |
| ⑫ LAN LINK/ACT ランプ | 黄緑点灯 LINK 中 黄緑点滅 データを送受信 消灯 未接続 |
| ⑬ LAN SPEED ランプ | 黄点灯 1000BASE-T で接続中 橙点灯 10GBASE-T で接続中 消灯 未接続 |

使う前に

基本的な使い方

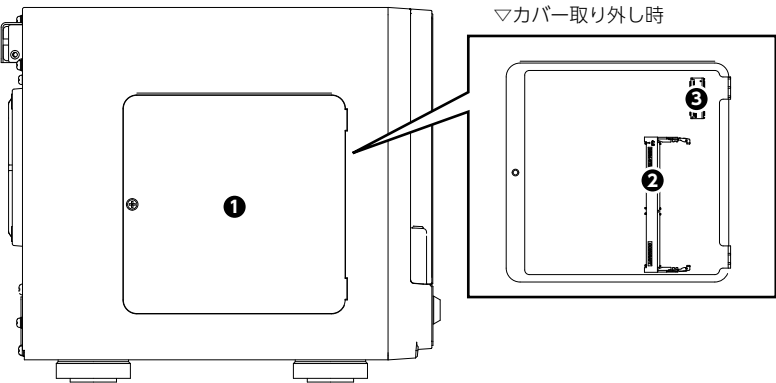
便利な使い方

ランプと対処

資料

2023 年 5 月 31 日付の「SDZ2133-R シリーズ」の生産終了に伴い、本製品の対応メモリーのご案内を終了させていただきます。
お客様におかれましては大変ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

側面（向かって左側）



| | |
|--------------------|-------------------|
| ① カバー | メモリーを増設する際に開けます。 |
| ② 増設用メモリスロット | 増設用メモリーを取り付けられます。 |
| ③ M.2 (NVMe) 用スロット | 使用しません。 |

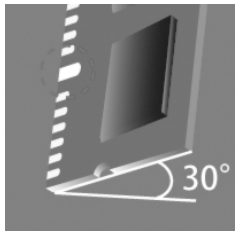
増設用メモリスロットについて

- 対応メモリーについては、以下の弊社 Web ページでご確認ください。
<https://www.iodata.jp/product/nas/general/hdl2-ha/spec.htm#spectop>
- メモリーの取り付けは、以下の手順でおこなってください。
※ コネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。静電気が流れ、部品を破壊するおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、増設メモリーの取り付け・取り外しは、金属製のものに触れて静電気を逃がした後でおこなってください。



【メモリーの増設方法】※ 2 番サイズのプラスドライバーをご用意ください

- 1) 本製品が起動している場合は、電源を OFF にする
- 2) 接続しているすべてのケーブルを取り外す
- 3) 増設メモリーを取り付ける面が上になるように本製品を横にする
- 4) プラスドライバーで ① カバーのネジを取り外す
- 5) ① カバーを取り外す
- 6) メモリーを取り付ける
スロットの突起位置とメモリーの切り欠きを合わせ、斜め方向から押し込みます。※約 30 度ぐらいが目安です。
その後、メモリーを倒し、フックに「カチッ」とはまれば完了です。



- 7) ① カバーを取り付け、ネジ止める

以上で、増設メモリーの取り付けは完了です。

本製品を正しい置き方に戻し、ケーブル接続を元に戻してください。

※メモリー増設後の初回起動時のみ、通常よりも数分程度起動に時間がかかります。

【メモリー増設の確認方法】

- 1) 本製品の設定画面を開く
- 2) [情報・ログ表示] → [システム情報] をクリック

システム情報画面にて、メモリー容量が出荷時の 4 GB から増えていることをご確認ください。

基本的な使い方

次の 3 ステップで、データをパソコンから本製品に保存し、他のパソコンと共有できるようになります。

【ステップ 1：設置し、電源を入れる】（14 ページ）

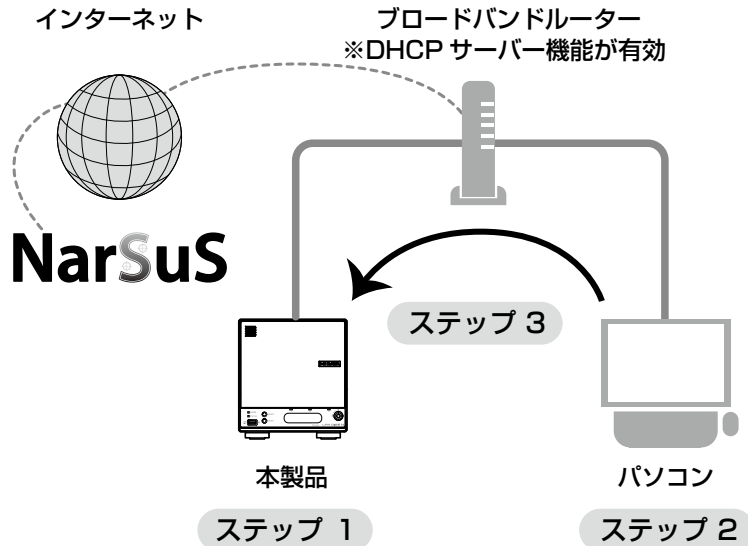


【ステップ 2：初回設定をする】（17 ページ）



【ステップ 3：アクセス権を設定する】（26 ページ）

使用環境例



ブロードバンドルーターなどの DHCP サーバー機能をご確認ください

事前にご利用のネットワーク環境で DHCP サーバー機能が有効になっていることをご確認ください。（ネットワーク管理者にご確認ください。）

DHCP サーバー機能が無効な場合は、本製品をネットワークに参加させるための適切な IP アドレスを取得し、本製品に設定してください。

※ DHCP サーバーから自動取得できなかった場合、本製品の LAN 1 ポートの IP アドレスは 192.168.0.200 となります。

※ IP アドレスは、【ステップ 2】で設定します。（【IP アドレスを固定設定する場合】（18 ページ）参照）

※一般的なブロードバンドルーターは DHCP サーバー機能が有効となっているため、IP アドレスの設定は必要ありません。

ステップ1：設置し、電源を入れる

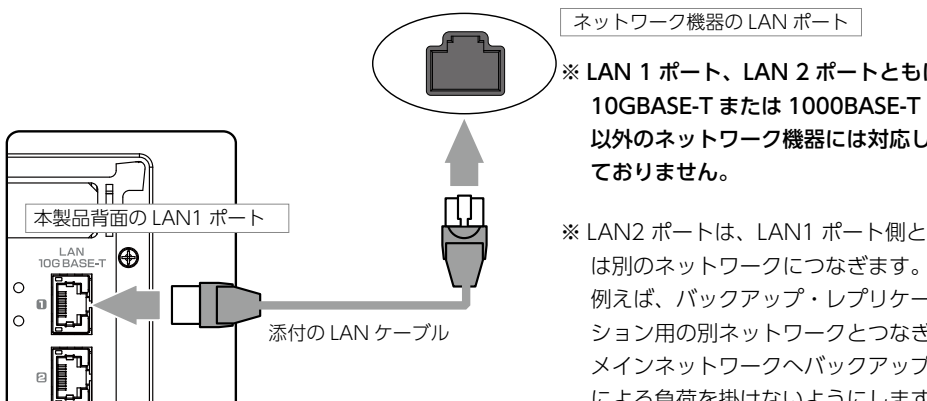
設置する

設置時のご注意

- 給電されている LAN ケーブル（Power over Ethernet）は絶対につながらないでください。故障の原因になります。
- 側面・前面の吸気口、背面の排気口は塞がないように設置する。

1 ネットワーク内のパソコン、ルーターなどが正常に動作していることを確認する

2



ネットワーク機器の LAN ポート

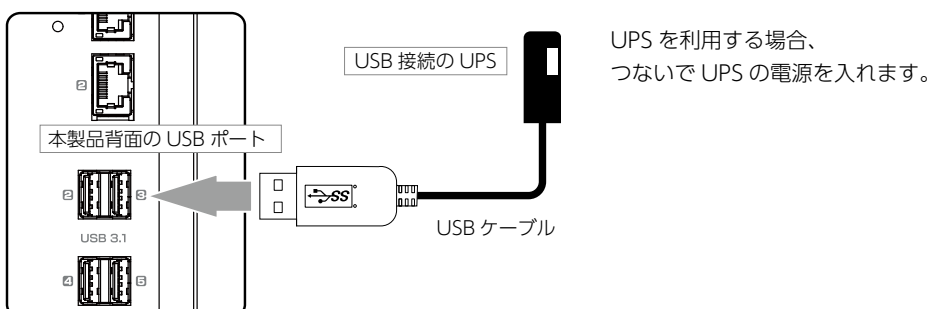
※ LAN 1 ポート、LAN 2 ポートともに 10GBASE-T または 1000BASE-T 以外のネットワーク機器には対応していません。

※ LAN2 ポートは、LAN1 ポート側とは別のネットワークにつながります。例えば、バックアップ・レプリケーション用の別ネットワークとつなぎ、メインネットワークへバックアップによる負荷を掛けないようにします。

本製品背面の LAN1 ポート

添付の LAN ケーブル

3



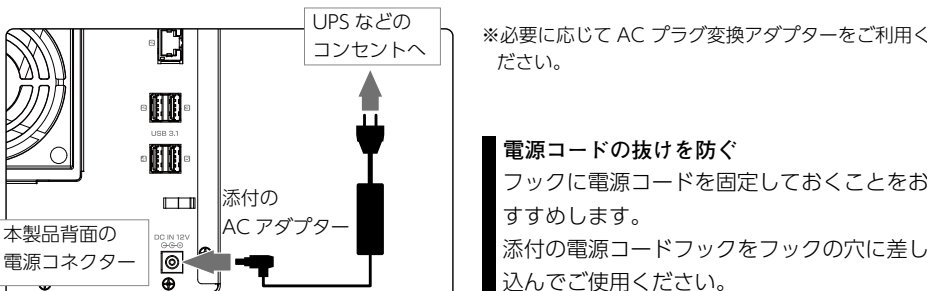
USB 接続の UPS

UPS を利用する場合、つないで UPS の電源を入れます。

本製品背面の USB ポート

添付の LAN ケーブル

4



UPS などのコンセントへ

※必要に応じて AC プラグ変換アダプターをご利用ください。

電源コードの抜けを防ぐ
フックに電源コードを固定しておくことをおすすめします。
添付の電源コードフックをフックの穴に差し込んでご使用ください。

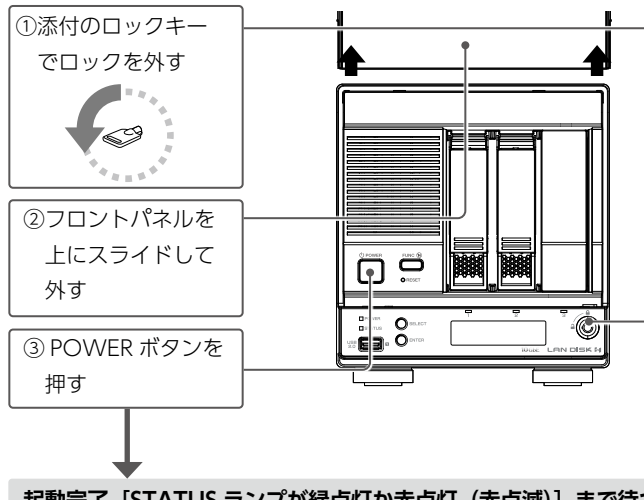
本製品背面の電源コネクタ

添付の AC アダプター

電源を入れる

ご注意

フロントパネル内に入っている緩衝材は、梱包用です。**必ず外してお使いください。**
そのまま使うと、故障の原因になります。



①添付のロックキーでロックを外す

②フロントパネルを上スライドして外す

③ POWER ボタンを押す

起動完了 [STATUS ランプが緑点灯か赤点灯（赤点滅）] まで待つ

ご注意

- 動作中に本製品のシャットダウンを完了せずに、電源を切らないでください。故障やデータ消失の原因となります。特に、電源ケーブルを抜く、テーブルタップのスイッチを OFF にするなどにご注意ください。電源の切り方については、【電源を切る場合】（16 ページ）をご覧ください。
- 出荷時設定でファームウェア、パッケージの【自動更新】【更新通知】が有効のため、起動時にインターネットへ接続します。

STATUS ランプが点滅中にコンセントを抜かないでください

ファームウェアの更新がある場合、通常より起動時に時間がかかります。緑点滅の場合は、そのままお待ちください（約 10 分）。

赤点灯し、「ピー」× 3 回鳴った場合

DHCP サーバーから IP アドレスを取得できていません。【IP アドレスが取得できていない場合】（40 ページ）をご覧ください。

赤点滅した場合

【故障と思ったら…】（38 ページ）をご覧ください。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

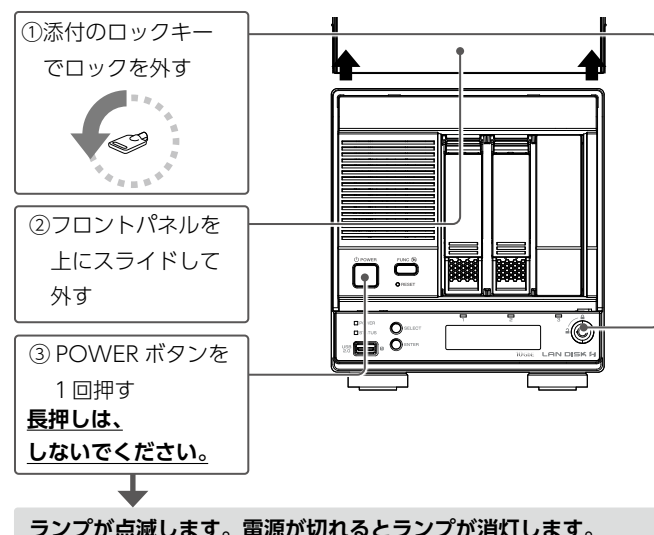
ランプと対処

資料

電源を切る場合

ご注意

- ランプが消える前に、絶対に電源ケーブルを抜かないでください。故障の原因になります。
- **POWER ボタンを長押ししないでください。**
強制シャットダウンになり、故障やデータ消失の原因となります。



ステップ2：初回設定をする

導入用ソフトウェアをインストールする

弊社製アプリ「LAN DISK CONNECT」をインストールします。
下の Web ページにアクセスし、インストールしてください。

<https://www.iodata.jp/r/5160>

LAN DISK CONNECT とは？

- LAN DISK CONNECT でできること
 - ・ LAN DISK の共有フォルダーを開く
 - ・ LAN DISK の設定画面を開く
 - LAN DISK CONNECT のインストールによる変化
 - ・ デスクトップに「LAN DISK」のショートカットが作られます。
 - ・ エクスプローラーに「LAN DISK」項目が追加されています。
- ※（Windows のみ）「Office アドインをインストールしますか？」と表示された場合は、Microsoft Office 2013 以降がインストールされていれば、[はい] をクリックしてください。
Office の保存場所として「LAN DISK」を追加します。

その他詳しくは、LAN DISK CONNECT のヘルプをご覧ください。

LAN DISK CONNECT 起動後にメニューの「ヘルプ」をクリックすると参照できます。

スマートフォンからも参照できます。→



インターネットに接続できない場合の LAN DISK CONNECT のインストール方法

※以下の方法では、LAN DISK CONNECT のバージョンが古い場合があります。できるだけ上記 Web ページからのインストールをご利用ください。

- ① 画面左下付近にある (エクスプローラー) をクリック
- ② [ネットワーク] をクリック
- ③ 記憶域の [landisk-xxxxxx] をダブルクリック

※ 「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています」と表示された場合は、再度アイコンをダブルクリックしてください。

※ 「記憶域」や [LANDISK-xxxxxx] が表示されない場合は、サポート Q&A (Web) をご確認ください。

<https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s20119.htm=?>

- ④ [セットアップスタート] をクリックする

この後、画面の指示にしたがってインストールを完了します。



次に、【IP アドレスを固定設定する場合】（18 ページ）へお進みください。

IP アドレスを固定設定する場合

本製品の IP アドレスを固定設定にする場合は、以下の手順で設定します。
※本製品の設定画面でも設定できます。

1 ● Windows の場合



デスクトップ上の [LAN DISK] をダブルクリック
⇒ LAN DISK CONNECT が開きます。

● Mac の場合



- ① [Finder] をクリック
- ② [LAN DISK] をクリック

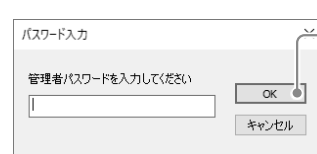
2



- ①対象の [LANDISK-xxxxxx] を
右クリック

- ② [IP 設定] をクリック

3



- 何も入力せずに、[OK] をクリック
※ 管理者パスワードを設定済みの場合は、設定した管
理者パスワードを入力します。

4

画面の指示にしたがって、固定の IP アドレスを設定する

次に、【設定画面を開く】（19 ページ）へお進みください。

設定画面を開く

1 ● Windows の場合



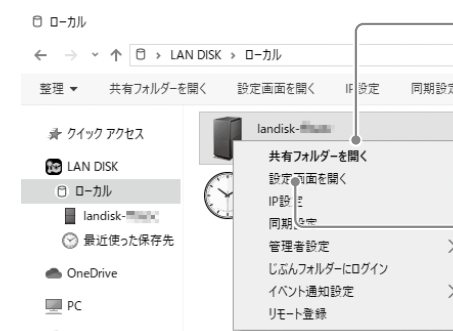
デスクトップ上の [LAN DISK] をダブルクリック
⇒ LAN DISK CONNECT が開きます。

● Mac の場合



- ① [Finder] をクリック
- ② [LAN DISK] をクリック

2



- ①対象の [LANDISK-xxxxxx] を
右クリック

- ② [設定画面を開く] をクリック

LAN DISK CONNECT を使用しない場合

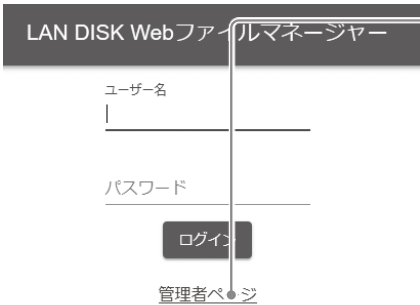
- Web ブラウザーの URL 欄に「http://（本製品の IP アドレス）」と入力することで開けます。
初期値の例）http://192.168.0.200
※この場合、パソコンの IP アドレスを 192.168.0.xxx など同じセグメントに設定してください。

次に、【管理者パスワード設定と初期設定をする】（20 ページ）へお進みください。

管理者パスワード設定と初期設定をする

はじめて設定画面を開いた時は、最初に管理者（ユーザー名：admin）のパスワードを設定し、初期設定へ進みます。

1



[LAN DISK Web ファイルマネージャー] が表示されますが、何も入力せずに [管理者ページ] をクリック

2



① [ユーザー名] に admin と入力
② [ログイン] をクリック


3



① 2つの欄に同じ管理者パスワードを入力する
※ 4 ～ 20 文字（半角英数記号）
② [適用] をクリック

- 管理者（admin）について
- 管理者パスワードを使うと、本製品の全設定やすべての共有（全員共有、ユーザー共有、グループ共有）にアクセスできます。
- ※パスワードは漏れないようにしっかり管理し、定期的に変更してください。
- ※すべての共有にアクセスできるのは、Windows からのみです。
- ※管理者パスワードは、次の場合などに使います。
- ・本製品の設定画面を開く
 - ・LAN DISK コネクト、Magical Finder から IP 設定する
 - ・管理者として共有フォルダーにアクセスする
- ※管理者パスワードを忘れてしまった場合は、リセットボタンを押します。管理者パスワードとネットワーク設定が出荷時設定に戻ります。

4



① タブを切り替えて必要な設定をおこなう
② [全ての設定を反映する] をクリック

※ ここで設定できる内容については下記をご確認ください。
※ ここで設定しない場合は、[初期設定を保持する] をクリックしてください。各タブの設定は、後で設定画面から設定できます。

初期設定で設定できる内容

| タブ | 内容 |
|------------------|---|
| 名前 | 本製品の名前、説明、設置場所を設定できます。名前を変更した場合は、ネットワーク上で表示される本製品の名前が変わります。 |
| ネットワーク | 本製品の IP アドレス設定ができます。(IPv4 のみ) デフォルトゲートウェイや DNS サーバーの設定は、[追加設定] タブでおこないます。 |
| Microsoft ネットワーク | 本製品が参加するドメインの設定ができます。(Active Directory) |
| 時刻 | 本製品の時刻設定ができます。 |
| 内蔵ボリューム | 本製品の RAID モードの変更や暗号化の設定ができます。 RAID モードの変更や暗号化の設定時には再構築に時間かかる場合がありますが、再構築中も他の設定は可能です。 暗号化設定の際は、添付の USB メモリーが必要です。 ※添付の USB メモリー以外も利用可能です。設定方法など詳しくは【詳細ガイド】(Web) をご覧ください。 |
| 省電力 | 本製品の省電力設定ができます。 |
| 電源スケジュール | 本製品の起動時刻、終了時刻のスケジュール設定ができます。 |

次に【NarSuS 登録をする】(22 ページ) へお進みください。

NarSuS 登録をする

NarSuS（ナーサス）とは？

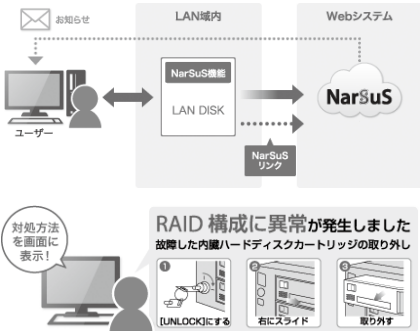
「NarSuS（ナーサス）」とは、製品の状態をインターネット経由で管理できるクラウド管理機能です。お客様に代わって NarSuS データセンターが製品の状態を把握し、万が一の障害をいち早く察知し通知します。

- 製品と離れたところからでも状態を確認
Web 上の管理画面なので、どこからでも状態を確認できます。

- トラブル時にすばやくメールでお知らせ
製品にトラブルが発生したら、NarSuS データセンターが状態を察知し、NarSuS データセンターからメールでトラブルをお知らせします。

- トラブル対処ガイダンス
トラブル発生の際に状況に合わせた対応ガイドを表示します。イラストつきのガイドにしたがって操作するだけで、難しいバックアップの再構築やカートリッジ交換など、迷うことなく対処できます。

- セキュリティへの配慮
NarSuS の通信は、製品から NarSuS データセンターへ、HTTPS で暗号化された一方通行の送信をおこなっています。そのため NarSuS データセンター側から、直接製品に接続することはありません。また、製品から送信するデータは、製品の稼働情報のみであり、利用されているユーザーの情報やユーザーデータ（ファイルなど）が送信されることはありません。



NarSuS のご利用環境

- 対象製品の設置環境
インターネット接続可能な環境でご利用いただけます。
※ https で通信するため、ポート 443 の解放が必要です。
※ NarSuS は、IPv4 ネットワークでのみ使えます。
- 対象製品の設置環境
以下の各 Web ブラウザーの最新バージョンをご利用ください。
・ Internet Explorer (IE8 以上) ・ Chrome ・ Firefox ・ Safari ・ Microsoft Edge

【初期設定】画面を閉じると、下の画面が表示されます。

1

LAN DISKの安定動作のために必ずご確認ください。

本製品は、クラウド状態管理用 NarSuS(ナーサス)に対応しています。LAN DISKの安定動作のために、必ずご確認ください。

- ・ 故障発生など情報の取得状況をWebページで確認し、必要な場合は、Webページで案内が受け付けられます。
- ・ サポート、設置、利用に関するお問い合わせは、NarSuS(ナーサス)のWebページで受け付けられます。
- ・ 運用、保守に関するお問い合わせは、NarSuS(ナーサス)のWebページで受け付けられます。

「NarSuS(ナーサス)」をご登録いただく事で、万が一のトラブル発生時も的確な対応が可能となりますので、是非ご登録ください。

登録 後で登録

「登録」をクリック

本製品をインターネットに接続できない場合
この後の手順が異なります。

「登録」をクリック後、【インターネットに接続できない場合の登録方法】(24 ページ)をご覧ください。

2

NarSuS利用の準備

NarSuS(ナーサス)を利用可能に、登録を行います。NarSuS(ナーサス)を利用可能にするには、必ずご確認ください。

プロキシサーバーの設定が必要な場合

インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、この画面で設定できます。

プロキシ設定

※ 使用しない ○ 自動設定スクリプトを使用する ○ 手動設定

「NarSuS を利用」をクリック

登録に失敗する場合、ご確認ください

- ・ 本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること (LAN ケーブルが正しく接続されていること)
- ・ プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
- ・ 本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
- ・ お使いの Web ブラウザーのキャッシュ (Cookie) をクリアして再度お試しください。

3

NarSuS登録

次のいずれかを選択し、NarSuS(ナーサス)に登録してください。

(登録完了後、本製品の設定画面で再確認してください。)

NarSuSに初めて登録する方 NarSuSに通信で登録する方

NarSuS の登録状況でどちらかを
クリック

4

画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※本製品は LAN ポートが複数ありますが、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

5

登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

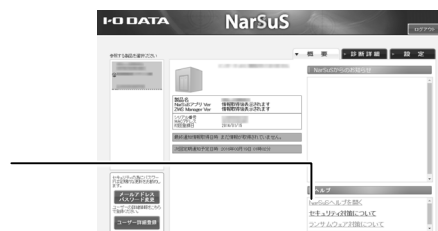
登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。
以上で NarSuS 登録は完了です。

NarSuS の利用方法

以下 URL にアクセスしてください。

<https://www.narsus.jp/>

NarSuS へログイン後、[NarSuS ヘルプを開く] をクリックすると、NarSuS ヘルプをご覧いただけます。



インターネットに接続できない場合の登録方法

①インターネットに接続できるパソコンで Web ブラウザーを起動し、次の URL にアクセスする

<https://www.narsus.jp/user-reg>



NarSuS の登録状況で選択してクリック

※追加で登録する場合は、ログイン後 [製品追加登録] をクリックします。

③画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

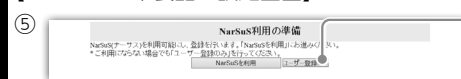
※本製品は LAN ポートが複数ありますが、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。



利用コードをメモする

※送付されるメールにも記載されています。

【ここから、本製品の設定画面】



[ユーザー登録のみ] をクリック



メモした利用コードを入力

[保存] をクリック

ファームウェアの更新について確認する

制限事項

内蔵ボリュームの再構築中は、ファームウェアの更新はできません。この場合再構築が完了してからお試しください。

●本製品がインターネットに接続できる場合

本製品は、ファームウェアの自動更新機能が有効に設定されています。そのため、常に最新のファームウェアでお使いいただけます。

●本製品がインターネットに接続できない場合

1 本製品の最新ファームウェアを入手する

最新ファームウェアの更新方法

以下の弊社 Web ページにアクセスし、本製品の型番で検索します。

<https://www.iodata.jp/lib/>

2 本製品の設定画面を開く

※【設定画面を開く】(19 ページ) 参照

3



システム



ファームウェア



更新

[システム] → [ファームウェア] → [更新] をクリック

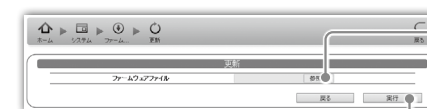
4



① [ファームウェアファイルを指定する] を選ぶ

② [更新] をクリック

5



① ファイルを指定する

② [実行] をクリック

本製品が再起動し、STATUS ランプが緑点灯に変われば完了です。次に、ステップ3へお進みください。

ステップ3：アクセス権を設定する

パソコンから本製品にアクセスするために必要なユーザーを作成します。
共有フォルダーへのアクセス権は、ユーザー・グループごとに設定できます。また、ユーザーに関係なく共有フォルダーを読み取り専用に変更できます。

アクセス権の種類

ユーザーに設定できるアクセス権は「読み取り」、「読み書き」、「禁止（アクセス禁止）」の3つです。

登録するユーザーについて

ネットワーク（パソコン）にログオンする際の【ユーザー名】と【パスワード】で登録すると、本製品へのアクセス時にユーザー名とパスワードの入力が不要になります。

1 本製品の設定画面を開く

※【設定画面を開く】（19 ページ）参照

2



【ユーザー&グループ】 →
【ユーザー】 → 【追加】 を
クリック

3



- ①任意の
【ユーザー名】、【パスワード】、
【パスワード】（確認）を入力
- ※ ユーザー名は、1 文字以上 20 文字以下の半角英
数字と - _（ただし次の文字列は除く）
- ハイフンから始まる
- 数値のみ
- 既存のユーザーと大／小文字のみが異なる）
※ パスワードは、4 文字以上 20 文字以下の半角文
字（ただし " & ' < > \ ` は除く）

- ②【追加】をクリック
⇒アクセス用ユーザーが作成されます。

次に、作成したユーザーに「disk1」フォルダーへのアクセス権をつけます。

4



5



【共有】 → 【フォルダ】 → 【一覧】
をクリック

6



disk1 の【変更】をクリック
※ disk1 は、ご購入時に設定されている通常使用の
ための共有フォルダーです。

7



①【禁止ユーザー】にある手順 3
で作成したユーザーをクリック

②【読み書きユーザー】の【選択】
をクリック
⇒ユーザーが【読み書きユーザー】に移ります。
※ その他の設定は不要です。

③【変更】をクリック

次に、【パソコンからアクセスする】（28 ページ）へお進みください。

サブフォルダーやファイルのアクセス権

サブフォルダーやファイルにアクセス権を設定する場合は、Web ファイルマネージャーでおこないます。詳しくは詳細ガイドで【Web ファイルマネージャー】で検索してご確認ください。

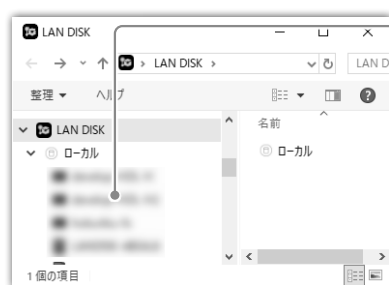
パソコンからアクセスする

● Windows の場合

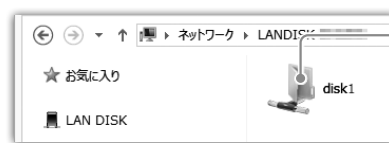
- 1 デスクトップ上の [LAN DISK] をダブルクリック
⇒ LAN DISK コネクトが開きます。



- 2 [LAN DISK] の [ローカル] → [LANDISK-xxxxxx] を選ぶ



- 3 [disk1] をダブルクリック



ユーザー名、パスワードを求められたら

【ステップ 3：アクセス権を設定する】(26 ページ) で設定したアクセス用ユーザーのユーザー名、パスワードを入力します。

アクセスできない場合は、サポート Q&A (Web) をご確認ください
<https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s30227.htm?>



これで、データを読み書きできます。
パソコン 1 台でご利用の場合は設定完了です。

LAN DISK コネクトを使用しない場合

- 本製品の IP アドレスを固定設定している場合は、エクスプローラーなどで「\\¥¥IP アドレス」(例：\\¥¥192.168.0.200) と入力することでもアクセスできます。

この後の設定について

- 2 台目以降のパソコンでご利用の場合も、【ステップ 3：アクセス権を設定する】(26 ページ) の手順でユーザーを作成してください。
- 本製品に保存したデータを守るためにバックアップを設定してください。
バックアップについては、【データを守る (バックアップ)】(30 ページ) をご覧ください。

● macOS の場合

- 1 [Finder] を開く

- 2 ① [LAN DISK] をクリック
② [landisk-xxxxxx] をダブルクリック



【LANDISK-xxxxxx】が表示されない場合

本製品の POWER ランプが緑点滅していないかご確認の上、緑点滅している場合は点灯に変わるまでお待ちください。
また、[LAN DISK] の一覧内を右クリックし、表示された [機器リストの更新] をクリックしてください。

- 3 ① [登録ユーザ] を選ぶ
② アクセス用のユーザー名 (名前) とパスワードを入力
③ [接続] をクリック



- 4 [disk1] をダブルクリック



アクセスできない場合は、サポート Q&A (Web) をご確認ください
<https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s20118.htm?>



これで、データを読み書きできます。
パソコン 1 台でご利用の場合は設定完了です。

この後の設定について

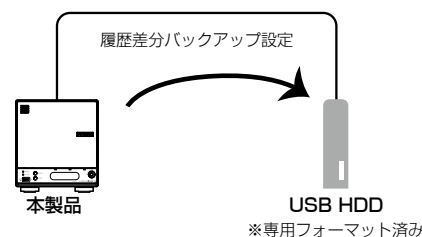
- 2 台目以降のパソコンでご利用の場合も、【ステップ 3：アクセス権を設定する】(26 ページ) 以降の手順でユーザーを作成してください。
- 本製品に保存したデータを守るためにバックアップを設定してください。
バックアップについては、【データを守る (バックアップ)】(30 ページ) をご覧ください。

データを守る (バックアップ)

同じデータを2か所に保存することで、万一の故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えます。
不測の事態に備えるために、バックアップしておくことをおすすめします。

●おすすめのバックアップ方法

別売のUSB HDD を本製品に増設し、履歴差分バックアップします。
※対応のUSB HDDについては、【対応外付HDD】(9ページ)をご覧ください。



履歴差分バックアップとは

バックアップした時点でのファイルやフォルダーの構造が日付ごとに丸ごと残ります。
ファイルを間違えて消したり更新してしまった場合に、日付を指定して復元することができます。

- 1 本製品の設定画面を開く ※【設定画面を開く】(19ページ) 参照
- 2  [ボリューム] → [USBx] → [フォーマット] をクリック
※ [USBx] の x は、取り付けた USB HDD の接続ポート番号です。
- 3  ① [専用フォーマット] にチェック
② [実行] をクリック
⇒フォーマットを実行します。
※フォーマットの開始/終了時は、共有へのアクセスはできません。ユーザーが本製品にアクセスしていないことを確認してから実行してください。
- 4  [データバックアップ] → [バックアップ] を開き [追加] をクリック
- 5 増設した USB HDD をバックアップ先にしてジョブを追加する
[履歴数] と [スケジュール] を指定しバックアップジョブを追加します。
バックアップジョブの追加方法は、『詳細ガイド』(Web) の【バックアップ】をご覧ください。(34ページのリンク先参照)

以上で、指定した日時に履歴差分バックアップが実行されます。

データを守る (ゴミ箱機能)





本製品上のファイルを削除すると、OS のゴミ箱などに入らずにそのまま消えてしまいます。ゴミ箱機能を使うと、ファイルを削除してもすぐにファイルがなくならず、いったん [trashbox] フォルダーに保管されます。

ゴミ箱機能使用上のご注意

- Windows ファイル共有 (SMB) で削除した場合にだけ [trashbox] フォルダーに保管されます。Remote Link Files など削除した場合は保管されずに削除されます。
- [trashbox] フォルダー内のファイルは、自動的に消去されません。定期的に [trashbox] フォルダー内のファイルを削除してください。
- ご利用のアプリケーションによっては、その動作中にファイル作成→削除を繰り返すものがあります。結果、[trashbox] フォルダー内のファイルが大幅に増えることがあります。
- ゴミ箱機能を無効にした場合には、[trashbox] フォルダーは削除され、[trashbox] 内のファイルは完全に消去されます。

●ゴミ箱機能を有効にする

手順例では、共有フォルダー「disk1」のゴミ箱機能を有効にします。




- 1 本製品の設定画面を開く ※【設定画面を開く】(19ページ) 参照
- 2  [共有] → [フォルダー] → [一覧] をクリックする
- 3  disk1 の [変更] をクリック
※ disk1 は、ご購入時に設定済みの通常使用のための共有フォルダーです。
- 4  [ゴミ箱] にチェックを入れる
- 5  [変更] をクリック

以上で、disk1 のゴミ箱機能が有効になりました。

●ゴミ箱からファイルを取り戻す

- 1 本製品にアクセスする ※【パソコンからアクセスする】（28 ページ）参照
- 2 disk1 などの共有フォルダーの中の [trashbox] フォルダーを開く
⇒ 削除したファイルが表示されます。
- 3 必要なファイルを元の共有フォルダーに移動（またはコピー）する

●ゴミ箱機能を空にする

- 1 本製品の設定画面を開く ※【設定画面を開く】（19 ページ）参照
- 2  →  →  [共有] → [フォルダー] → [一覧]
をクリックする
- 3  disk1 の [ゴミ箱を空にする] を
クリック

以上で、disk1 のゴミ箱が空になりました。

便利な使い方

機能を追加する（アドオンパッケージ）

本製品には、さらに別の機能を追加することができます。




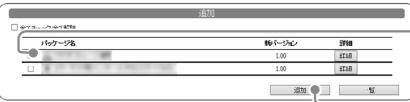
| パッケージ名 | 機能 |
|--------------------|---|
| Remote Link 3 | 外出先からインターネットを介してアクセス |
| レプリケーション | メイン機と予備機の共有フォルダーを同期し、同じ状態に保つ |
| クローン | マスター機の設定やファイルをスレーブ機に保存 |
| ESET File Security | ESET（イーセツ）社の NAS 向けウイルス対策ソリューション「ESET File Security」を適用 |
| ログ拡張 | ・ アクセスログ、システムログの長期保存 ・ アラート機能を使った情報漏えいの兆候の検出 ・ USB メモリーを使った制限キーによりアクセスログを保護 |
| H/X/AA/XR/XV 移行 | 弊社製 HDL-H、X、AA、XR、XV の各シリーズから本製品にデータや設定を移行 |

▼最新情報、オフライン環境での追加方法はこちら

https://www.iodata.jp/product/nas/info/landisk/hdl-h_package.htm



●パッケージの追加方法

- 1 本製品の設定画面を開く ※【設定画面を開く】（19 ページ）参照
- 2  →  →  [システム] → [パッケージ管理]
→ [追加] をクリック
- 3  ①追加するパッケージにチェック
② [追加] をクリック

以上で、パッケージが追加されました。
ご利用方法は、『詳細ガイド』（Web）をご覧ください。（次ページのリンク先参照）

機能一覧

本製品には以下の機能があります。
詳しい設定方法は『詳細ガイド』（Web）をご覧ください。






https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-ha_manual/



「マニュアル内検索」をご利用ください
『詳細ガイド』（Web）にある「マニュアル内検索」に
以下の詳細ガイド 検索ワードを入力してご覧ください。













◆共有フォルダー関連

| 機能（目的） | 使用・設定方法 | 詳細ガイド 検索ワード |
|----------------------|---|-------------|
| ユーザー、グループを追加する |  →  →  ユーザー・グループ | 共有・アクセス権設定 |
| 共有フォルダーを追加する |  →  →  共有 フォルダー | |
| 削除したファイルを一時的に保管する | 共有の追加・変更で設定 | ゴミ箱機能 |
| 使う容量を制限する |  →  システム サービス設定 | 容量制限 |
| ユーザーの使用量を制限する |  →  →  ユーザー・グループ ユーザー 使用量制限 | |
| グループの使用量を制限する |  →  →  ユーザー・グループ グループ 使用量制限 | |
| フォルダーの使用量を制限する |  →  →  共有 フォルダー 使用量制限 | |
| CSV ファイルを利用して共有を一括登録 |  →  一括登録 CSV一括登録 | CSV 一括登録 |










◆パッケージ（追加機能）

| | | |
|------------------|--|-------|
| 機能を追加する（パッケージ追加） |  →  →  システム パッケージ管理 追加 | パッケージ |
|------------------|--|-------|

◆バックアップ関連

| 機能（目的） | 使用・設定方法 | 詳細ガイド 検索ワード |
|---------------------|---|-----------------|
| バックアップ（履歴差分バックアップ） |  →  データバックアップ バックアップ | バックアップ |
| フォルダー構成を保持したデータコピー |  →  データバックアップ データコピー | データコピー |
| USB メモリーのデータを自動コピー | (初期設定) USB ポート 1 につなぐ | クイックコピー |
| 別のカートリッジに複製（ミラーリング） |  →  →  ボリューム USB3.0 USB3 モード設定 | ミラーリング |
| USB HDD をつなぐ | (初期設定) USB ポート 1 以外につなぐ | USB HDD を増設する |
| USB HDD をフォーマットする |  →  →  ボリューム USB2.0 USB2 フォーマット ※ USB HDD をつないだポート | USB HDD のフォーマット |

◆RAID モード・暗号化・iSCSI

| | | |
|------------------------|--|-------------------|
| RAID モードを変更する 暗号化する |  →  →  ボリューム 内蔵 USB2.0 USB2 フォーマット | RAID モード 暗号化設定 |
| 暗号化のためのロックキーを管理する |  →  →  ボリューム ロックキー キーサーバー | キーサーバー |
| iSCSI ターゲットを作成する |  →  →  ボリューム 内蔵 iSCSI | iSCSI |

◆ログ・通知関連

| | | |
|-----------------------|---|--------|
| 本製品に対する操作の履歴（ログ）を確認する |  →  情報・ログ表示 アクセスログ | アクセスログ |
| システム動作の履歴（ログ）を確認する |  →  情報・ログ表示 システムログ | システムログ |
| メールで各種通知をおこなう |  →  システム 通知 | 通知設定 |

使う前に

基本的な使い方










便利な使い方

ランプと対処

資料

◇その他、本製品の設定関連

| 機能（目的） | 使用・設定方法 | 詳細ガイド 検索ワード |
|----------------------|--|-------------|
| HDD/SSD にエラーがないか確認する |  ▶  ▶  ボリューム 内蔵 チェックディスク USB2.0 | エラーチェック |
| ネットワーク上の名前を変更する |  ▶ abc システム 名前設定 | 名前設定 |
| 日付と時刻を設定する |  ▶  システム 時刻設定 | 時刻設定 |
| IP アドレスなどを設定する |  ▶  ▶ IPv4 ネットワーク LAN1 IPv4 | ネットワーク |
| プロキシを利用する場合の設定をする |  ▶  ネットワーク プロキシ設定 | プロキシ設定 |
| 管理者パスワードを変更する |  ▶  システム 管理者設定 | 管理者設定 |
| サブ管理者を設定する |  ▶  システム サブ管理者設定 | サブ管理者設定 |
| 電源を切る / 再起動する |  ▶  ▶  システム 電源 シャットダウン | シャットダウン |
| 起動 / 終了時刻を設定する |  ▶  ▶  システム 電源 スケジュール設定 | スケジュール設定 |
| 停電復帰時に自動で電源を入れる |  ▶  ▶  システム 電源 AC電源連動設定 | AC 電源連動設定 |
| 電力消費を抑える |  ▶  ▶  システム 電源 省電力設定 | 省電力設定 |
| FUNC. ボタンを無効にする |  ▶  ▶ FUNC. システム ボタン FUNC.ボタン設定 | FUNC. ボタン設定 |
| RESET ボタンを無効にする |  ▶  ▶ RESET システム ボタン リセットボタン設定 | リセットボタン設定 |
| ランプの明るさを調節する |  ▶  システム ランプ設定 | ランプ設定 |
| 正常に動作していることを確認する |  ▶  システム 自己診断 | 自己診断 |

| 機能（目的） | 使用・設定方法 | 詳細ガイド 検索ワード |
|--------------------------|--|------------------|
| ファームウェアの更新設定を変更する |  ▶  ▶  システム ファームウェア 更新 | ファームウェアを更新 |
| 本製品を出荷時設定に戻す |  ▶  システム 初期化 | 初期化 |
| UPS を増設し、UPS 関連の各設定をおこなう |  ▶  ▶ UPS システム 電源 UPS設定 | UPS をつなぐ |
| Active Directory へログオンする |  ▶  ユーザーグループ Microsoftネットワーク設定 | Active Directory |

| |
|---------|
| 使う前に |
| 基本的な使い方 |
| 便利な使い方 |
| ランプと対処 |
| 資料 |

万が一に備えて、定期的にバックアップしてください

- RAID 構成が崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。
事前にバックアップ設定をして、万が一の故障に備えてください。【データを守る（バックアップ）】（30 ページ）

その他、困ったときには
▼よくあるお問い合わせ
<https://www.iodata.jp/support/qa/landisk/hdlha/>



故障と思ったら…

ランプとブザーの状況を組み合わせて、状態と対処を確認します。
STATUS ランプの状況から絞り込んでいきます。

- ▶ STATUS ランプは消灯している 39
- ▶ STATUS ランプは緑点滅している 39
- ▶ STATUS ランプは緑点灯している 39
- ▶ STATUS ランプは赤点灯している 40
- ▶ STATUS ランプは赤点滅している 41

鳴り続くブザーの止め方
SELECT ボタンを押してください。

STATUS ランプは消灯している

本製品の電源が入っていません。
電源コードを確認の上、本製品を起動してください。

STATUS ランプは緑点滅している

起動中やシャットダウン中、システム処理中（設定反映中、ファームウェア更新中など）です。
点灯（シャットダウンの場合は消灯）するまでお待ちください。

STATUS ランプが緑点滅でアクセスできない場合は、サポート Q&A（Web）をご確認ください
<https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s17483.htm=?>




STATUS ランプは緑点灯している

正常に動作しています。

| ブザー音 | 状態と対処 |
|--------|---|
| なし | ● 正常な状態 |
| ピッ | ● 正常に起動した ● USB HDD を取り付け、正常に認識した ● 各種設定を反映した ● クイックコピー / ボリューム設定変更などに成功した |
| ピッ×3 | ● フォーマット / チェックディスク / バックアップ / クイックコピーに成功した |
| ピー×3 | ● 設定変更に失敗した ⇒ 設定画面に入力した内容をご確認ください。 問題ない場合は、しばらく待ってから再度試してください。 |
| ドミソド×3 | ● カートリッジの交換後、ボリュームの再構築に成功した |

STATUS ランプは赤点灯している

お知らせする内容があります。

| ブザー音 | 状態と対処 |
|------|---|
| なし | ● お知らせがある ⇒ 設定画面を開き、画面左上の「通知」または「情報・ログ表示」→「お知らせ」をご確認ください。▶【設定画面を開く】（19 ページ） |
| ピー×3 | 起動時 ● IP アドレスを取得できない ⇒ LAN ケーブルをつなぎ直し、再起動してください。 ⇒ IP アドレスを手動で設定し、固定してください。 ▶【IP アドレスが取得できていない場合】（40 ページ） ● インターネットに接続できない ⇒ インターネットにつながらない場合、インターネットを使う機能を無効化してください。  |
| | カートリッジや USB HDD を取付時 ● 正しく認識していない ⇒ 取り付け直してください。解決しない場合は、取り付けたカートリッジや USB HDD が故障、容量不足、非対応フォーマットです。 |
| | クイックコピー時 ● コピーできなかった ⇒ 「情報・ログ表示」→「システムログ」をご確認ください。 つないだカメラやメモリーに非対応の場合もあります。 |
| | 設定変更時 ● 設定変更に失敗した ⇒ 「情報・ログ表示」→「システムログ」をご確認ください。 |

IP アドレスが取得できていない場合

本製品起動時に、STATUS ランプが赤点灯し、ブザー音がピー×3 鳴った場合 DHCP サーバーから IP アドレスを取得できなかったか、本製品がインターネットに接続できていません。以下の対処をお試しください。

- 対処 1 LAN ケーブルを抜き差ししてください。
- 対処 2 接続先のネットワーク機器が 10GBASE-T または 1000BASE-T に対応していることをご確認ください。
- 対処 3 スイッチングハブ、本製品、(ある場合) DHCP サーバーを再起動してください。
- 対処 4 DHCP サーバーが無い場合、本製品の IP アドレスを固定設定にしてください。
- ①【導入用ソフトウェアをインストールする】（17 ページ）を参照し導入用ソフトウェアをインストールする
- ②【IP アドレスを固定設定する場合】（18 ページ）を参照し設定する

※本製品の LAN 1 ポートは DHCP サーバーから IP アドレスを取得できない場合、「192.168.0.200」を持ちますので、直接設定画面を開いて IP アドレスを固定することもできます。

STATUS ランプは赤点滅している

重大なエラーが発生しています。
データにアクセスできる場合は、万が一のためにデータのバックアップをお取りください。

| ブザー音 | 状態と対処 |
|-----------------|---|
| なし | ● 何らかの警告がある ⇒ 設定画面を開き、「情報・ログ表示」→「お知らせ」または「システムログ」をご確認ください。▶【設定画面を開く】（19 ページ） |
| ドレミ (鳴り続く) | ● (UPS 警告が有効時) UPS がつながっていない または 停電状態 |
| ピピピピピ (鳴り続く) | ● (使用量警告が有効時) 使用量制限値に達した ⇒ 設定画面を開き、画面左上の「通知」または「情報・ログ表示」→「お知らせ」をご確認ください。 |
| ピッピッ (鳴り続く) | HDD/SSD ランプのどれかが赤点滅または消灯 ● 赤点滅 / 消灯しているカートリッジが故障している ⇒ データのバックアップを取り、赤点滅 / 消灯しているカートリッジを交換してください。▶【カートリッジの交換方法】（42 ページ） HDD/SSD ランプの全てが緑点灯 ● USB HDD とミラーリング設定しており、その USB HDD が故障または未接続になっている ⇒ USB HDD の状態をご確認ください。 |
| ピーポー (鳴り続く) | ● RAID 崩壊した (拡張ボリューム以外に設定時) HDD/SSD ランプが赤点滅 / 消灯しているカートリッジが故障している ※ 赤点灯しているカートリッジは正常です。 ▶【RAID が崩壊していたら…】（41 ページ） |
| ピーピー (鳴り続く) | ● 起動不可状態 ⇒ 内蔵ボリュームの異常かシステム異常が発生しています。 弊社修理センターに送付してください。 |

RAID が崩壊していたら…

本製品の RAID モードを拡張ボリューム以外に変更していた場合は、RAID 崩壊の可能性があります。この場合の対処方法は、『詳細ガイド』（Web）の【困った時には】→【故障と思ったら…> RAID が崩壊したときには】をご確認ください。

https://www.iodata.jp/lib/manual/hdl-ha_manual/index.html#p80_3



使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

カートリッジの交換方法

カートリッジ交換時のご注意

- 本製品のカートリッジは、故障時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 構成が崩壊してすべてのデータを失う危険があります。拡張ボリュームで容量を増やす方法は、詳細ガイドをご覧ください。
- 必ず本製品の電源が入っている状態で、カートリッジの取り付け / 取り外しをおこなってください。このとき、STATUS ランプの点灯状況や、該当カートリッジの HDD/SSD ランプが赤点滅（赤点灯でなく）または消灯していることを確認した上で取り外してください。
- カートリッジの交換の前に必要なデータはバックアップしてください。
- カートリッジの取り付け・取り外しは、必ず 1 台ずつ、以下の説明通りにおこなってください。

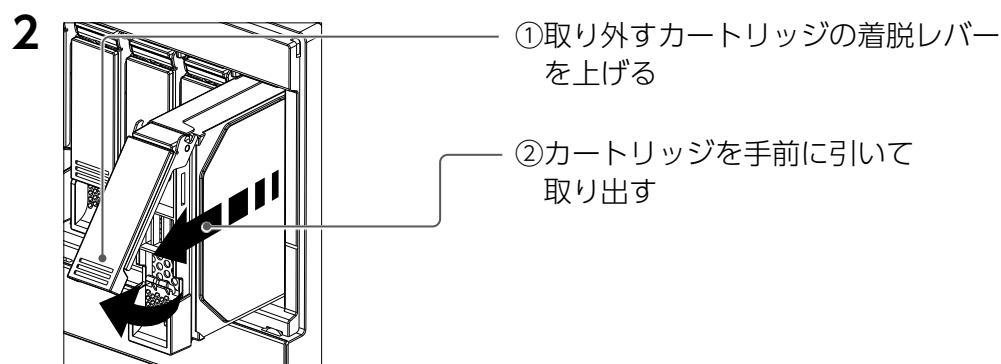
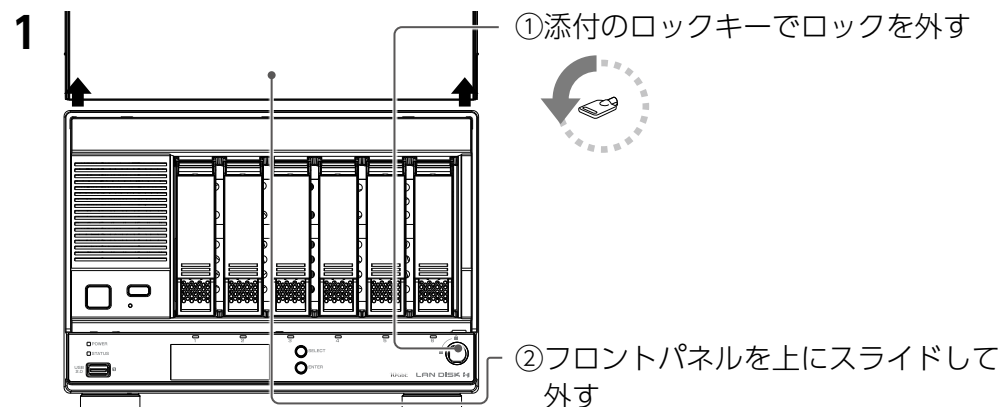
対応カートリッジ

【交換用カートリッジ、対応外付 HDD/UPS】（9 ページ）をご覧ください。

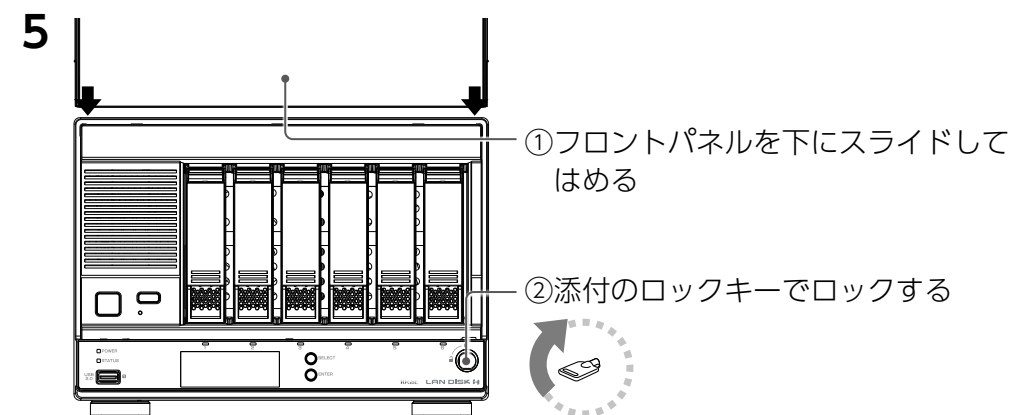
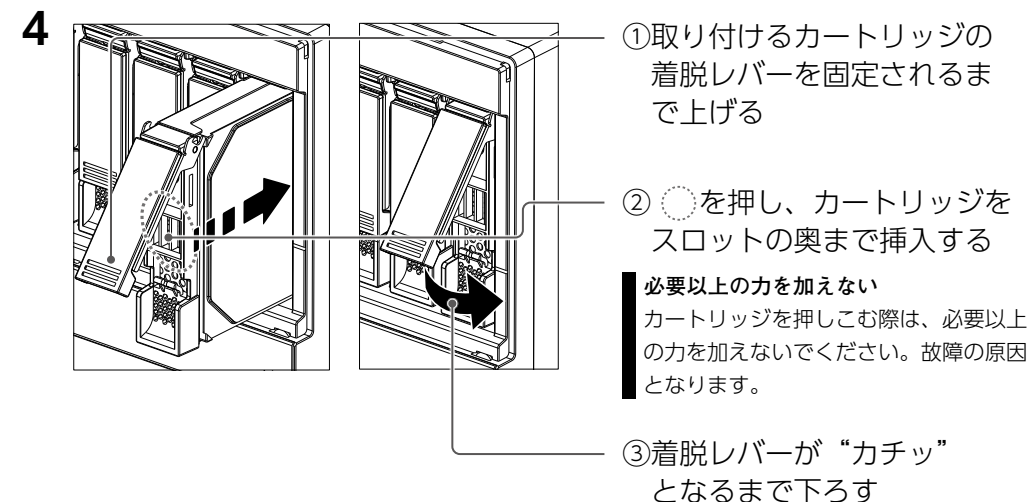
動画でもご確認ください

弊社サポート Q&A にて、交換方法を動画で説明しています。

<https://www.iodata.jp/support/qanda/answer/s30539.htm=?>



3 本製品の電源が入っていない場合は電源を入れ、起動したことを確認する



以上で、カートリッジの交換は完了です。

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

ダウンロードできるソフト

本製品の使用には必須ではありません。必要に応じてダウンロードしてください。
使用方法については、各ソフトのマニュアルをご覧ください。

弊社 Web ページ「サポートライブラリ」から、ダウンロードできるソフト

▼サポートライブラリ

<https://www.iodata.jp/lib/>

※本製品の型番で検索してください。

| ソフト名 | 詳細 |
|------------------------|---|
| LAN DISK Admin | LAN DISK を複数台導入した場合の設定を一括で管理することができます。 |
| LAN DISK Restore | 設定データをコピーして流用することで、複数台導入時の初期設定を省力化することができます。 |
| LAN DISK Key Server | ボリュームの暗号化機能により USB メモリーに保存されたキーをサーバー上に保存して、このサーバーをロックキーの代わりとして利用するソフトウェアです。 本製品の起動の度にロックキーを接続する作業が不要になり、ロックキーを安全な場所に常に保存しておくことができます。 |
| LAN DISK Backup Reader | 本製品が故障し、専用フォーマットの USB HDD からバックアップファイルが読み出せない場合に、パソコンからデータを読み出すことができます。 |
| Sight On | メールソフト感覚の簡単操作で、ユーザーによるファイル更新を知ることができます。ファイル更新時にポップアップで通知します。 |

アフターサービス

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー (<https://www.iodata.jp/privacy.htm>) に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせについて

お問い合わせ方法

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア



<https://www.iodata.jp/lib/>

電話でのお問い合わせ

050-3116-3025

受付 9:00～17:00 月～金曜日(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

メールでのお問い合わせ



<https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/landisk/corporate>

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

修理の流れ

保証期間 **3** 年間

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|------------------|---------------|----|---------------|----|-----------|
| 修理申込 (申込番号発行) | 修理センター に送付 | 検査 | 有償時のみ 見積連絡 | 修理 | 修理品 返送 |

①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。

<https://www.iodata.jp/support/after/repair/>

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL (FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

②修理センターに送付

- ☐ 商品一式
- ☐ 申込番号を書いたメモ (Web申込時に発行された番号)
- ☐ レシートや納品書など、購入日を示すもの



〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
(株)アイ・オー・データ機器 修理センター宛
TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。

※送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。

※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。

※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。(申込番号で検索)

【ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは弊社が提供する最新のファームウェア、またはソフトウェアを適用した本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

- 1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
- 3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
- 4) 中古品でご購入された場合
- 5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 7) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 9) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 10) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 12) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 13) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はおお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

Our company provides the service under this warranty only in Japan.

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

使う前に

基本的な使い方

便利な使い方

ランプと対処

資料

【使用ソフトウェアについて】

本製品には、GNU General Public License Version3 (GPL v 3) に基づいた、ソフトウェアが含まれています。
変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下の Web ページをご確認ください。

<https://www.gnu.org/licenses/gpl-3.0.ja.html>

これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、別段の定めが無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

HDL2-HA シリーズ LAN DISK 管理マニュアル
発 行 株式会社アイ・オー・データ機器

【マニュアルアンケート】



よりよいマニュアル作りのため
アンケートにご協力願います。

ハードウェア保証書

| | |
|------|---|
| 型番 | HDL2-HAシリーズ |
| 保証期間 | ご購入日より 3 年間有効です SSD搭載モデルのSSDが保証総書き込み容量に達した場合は、SSDは保証対象外となります。 |

| | |
|------|-----------------------|
| ☆お客様 | ふりがな |
| | お名前 |
| | TEL () - |
| | 〒□□□-□□□□ ご住所 |

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。
記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。
販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。
また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

| | |
|-----|---|
| 販売店 | ご購入日 |
| | 住所・店名 |
| | <div style="text-align: right;">印</div> |
| | TEL () - |

ご販売店様へ

- お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご記入日欄に記入し貴店名/住所、貴店印をご記入で捺印ください。
- 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社（修理センター宛）にご依頼ください。

I-O DATA 
株式会社 **アイ・オー・データ機器**

【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク（NAS）「LAN DISK シリーズ」に関するホワイトペーパーを掲載しています。必要に応じてご確認ください。

<https://www.iodata.jp/biz/whitepaper/>



【保守サービスのご案内】

アイオー・セーフティ・サービス（ISS）は、本製品をより長く安心してご利用いただくために、万が一の場合の保守を実施する有償保守サービスです。

設置から、故障時の交換、ハードディスクのデータ復旧まで充実のサービスをご用意。ワンストップでのサービスをご提供いたします。

<https://www.iodata.jp/biz/iss/tokusetsu/>



進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**
<https://www.iodata.jp/>